

○建設業界をとりまく環境の変化 (厳しい受注環境)
 ○担い手となる技術者の世代交代と 労働条件の悪化
 ○建設産業の魅力低下

目的:
 適正な施工・品質の確保
 ⇒ 消費者(注文者)保護

目的:
 優れた企業が生き残る環境整備
 ⇒ 不良不適格業者の排除

※視点
 技術力の確保・維持向上による
 確実な施工確保

※視点
 適正な技術者であることを発注者
 (公共・民間)や許可行政庁が確認
 できる仕組みの構築

※視点
 業界の経営環境の変化に対応した運用

■技術者の要件
 ○監理技術者・主任技術者の果たす役割と資格等のあり方
 ○技術者の資質・技術力の維持向上のあり方
 ・監理技術者講習に代わる方策

○要件(資格等)の表示や確認のあり方
 ・監理技術者資格者証の交付に代わる方策(DBの活用等)
 ・下請業者(主任技術者)も含めた表示・確認方策の必要性

■不正防止対策
 ○技術者個人への罰則のあり方
 ・不正受験者への受験停止期間の導入等の必要性
 ・虚偽表示等に関するペナルティーの必要性

■工事現場との関係
 ○現場専任制
 ・専任金額の設定の妥当性(土木等2,500万円、建築5,000万円)
 ・専任制運用の点検

■企業との関係
 ○雇用関係
 ・直接的雇用制度の点検の必要性(企業集団特例)

■技術分野との関係
 ○新たな分野への対応
 ・新たな市場への対応の必要性
 ・国民へのわかりやすさの視点